卜 6

口時を

一よ設

ルり立を、し

L

主

安ため

犯職公パ後

理

Rすを

八る実第

在街都施16犯

さ駅市し回月畑

ス

内

内

容

対

対

象

定

員

費 用

申

締

め

切

り

持

ち

物

問

13

合

わ

せ

FAX

4

4 4

さそなそ まこられ八 ざにごぞ街 ざにま暮 はれ市 春らす住民同士の歴史や文化がの地区で、そのの地区で、そののでのである。 は自治活動で が士 行にわよ のあ あ地り、 り、域 る

区 を紹 ま す。

をでまでが駅中地線含 る立月清ゴ主いれ現みもつは建周心域付め三 、ち辺と 、在せ市り L てのが毎並に ま い中開年びは、 7 明では ぞ20ま心催 栄治を県 えの区道R とさ八けさ しれ街やま 7 開域千八 てるなれのま き墾と葉街 まかし川駅 賑ど しらて上周 あ森な わ、 い公商た街い八辺夏園店。のみ街を い今夏園店 のる街を

の課た防生や一地たえ設5や睦防の。犯午き環域。る立月清ゴ 会とのまたしに掃ルなまし、安ため、一活フ活す め、「活フ活の住三動大動 す て全、の住三動大動で会の住区の会と 心和織同自ほなし を元を士主かどて 、のは る6成災災平交 さ駅市し回月組活月し害会成流区 に東市し回月総動にまに」29事民 に口備しの日けのはし備を年業親

物る使ま三 て行ら地宮にうのと「わす区11い事な域な創い隣

そは 。れ、 れのす。 の町 活内 動会 をで 行 構 つ成

にし況た15い ま数けナ祉 月の一協ま実たのシを議た施。 をり人る のシを議た施 知パで 第ル開会、し今るト区の2バ催と実て後良口内ご し今るト区の 1し連住いもい1を指 土 健た携中く毎機ル1導 日康り、 し央予月会し時の 地定第に にサ 間も 行口高防区で2も地以と ン齢災社す土な域上 。曜りのに区 てを者セ会 い偶向ミ福 日ま状わ民 がれすい 提ごいを

出連場郵受受なるる児

土期絡合送給けい必方童

支届

援い届

課て出

まい用

でな紙

の月まがいのぎ建なに区山のす地に五いさりあって (され) ある 地域住るれ、初 るミ 神三 ユ 初 民祈穣 9 社光二 に願やり は稲テ よす災と 荷ィ は 明 りる害いる 〜 セ 行たがっう治さン わめ起たま初んタ れのこ く期こ

「わす。 三れ。 ☎市と 民な っ光て伝山のす て回い統車八 推いしる的も街 進ま一山な市神 課すは車木内社 で製を大 祭披の練祭 り露車りで のさ輪歩は 名れがき

1 1

3

協

自主防犯組織 「けやき会」のメンバー

る 児

を

セ

夕

手い

午8紹き葉 前月介めの方童 1014を細臨を扶 時日実や時対養 30 (水) 施か窓象手 後(木) 3

曜限くはし中らと要は扶・だ、まのれ、が、養 だ、まのれ、が、養さ子し方ま11あ毎手 扶 養

児

曜月い育たにせ月り年当日30°て。はん分ま現を はん分ま現、。以す況 。届給 降 の提を 手出提れ 当さ出て ・お提 子る状養生児児持出を 育場況育計童童ち場除 合に費維扶扶い所く 養た

な送期願認て入税

過ま納ま知の

ぎすめす書納

0)

間 な ※ 7

り三移

せ扱

ん期

お取行し調

ま

す

日

は

とり 家 庭等 振金 矢 原費等時 替 助 应 現 況 庙

1

れ分ま現成 出連場郵受ま以す況制 届度と を ŋ 医出提利親 療さ出用家 費れすし庭 助なるで等成い必い医 がと要る療 が方費 け11あは等 ら月り 助

提ごいを 曜月い育たに日30°では 7 支届 援い届 課て出 まい用 でな紙

日 30 日 振(金) 替 休 日

とち場除土期絡合送給せ降

・お提 ひ持出を 庭く育 等もて 医の支 療 援 費 等 助

出 張 ウー ク! U とり 親全力サ 才 h # ヤンペ

ハをロ受 設 給 1 相 しま ワされ 談 っク 7 問場 子総 **7** 4 育 合 7 保 4 支 健 3 援福 1 課祉

6 9 3

民

ッ 保

シ 険

ユ 税

カの

ドし

1

申し

提

13

記

出入

0)

応にば

登届キ健

録出ャ康

不

で

ピ

一一が込

手 当 現 況 届 は お め dp 税

な

は

納

期

限

ま

I

納

付

を

お 願

CI

ま す

あ

うを載

通

忘のや期

れで納限

い期に納

やら口キ

でめれ座

場場義

場合は、必ず届出が場合や口座振替納付我人がお亡くなりに

な納書

付は

支が応等持養 援あじに方手手だ て関法当当く育 ま必す確証現も す要る認書況**の**支 。書申調 届 援 類告書 が 書

異

はそま

財れす

調

査

でと

も督

促

1課り

4 3 6

休 日 お

な者況 と届 対 象 児 童 0 健 康 保

間る※が所に方※ こ必得八が受方な印険受成 合れ要確街、給のる鑑証給現 が以で認市平者印方へ あ外すの全成ま鑑が同ど 。同転31た もい居 意入年は必る親 され、大要場族 れ月養 で合で 本た 2 義 すは 人場 日務 自合 以者 そ 筆は、降の の異

は、

ま書 す 類 が 要

9 早 3 が 納えの発納お確し納市は、な光期願認て入税 めら替での限の納場まを しま い自に安納でコック め納動す心付はングになった。付めるなはあどない。

とロ

さ 替

れにに

くく落

も出引申座

な向き請振

。れ申 か込 で方 申法 L 込 Z

口ちの申込行機送ラは書 でく預し書を関しイがに てバき同 申だ金込に含 金に局さシ入口 と 届指融備・いー・座 ゆ

間○○○□便信合銀行三菱興納国軽固市座局用、行、井下引銀子 税民自定県振を組銚、り住下引銀 機健動資民を 利必をな※ ☆下でゆ下☆国(後☆高介☆都市市☆納国軽固市座局用) 4水きう水4保普期4齢護4市営営4税民自定県振を組銚 井U業千用要 できる金融機関(順不同) (できる金融機関)(順不同) (できる金融機関)(順不同) (できる金融機関)(順不同)) (は大きない)) (は、大きない)) (は、大きない)) (は、大きない)) (は、大きので)) (は、大きない)) (は、い)) (は、い C 行銀る。

問

間用※○ 4